

# 第5章 高次脳機能障害者を地域で支える仕組み

## 1

### 地域支援ネットワーク

#### ネットワークの必要性

高次脳機能障害の症状は多様であり、さらに、障害の程度、発症・受傷からの期間やそれ以前の生活、年齢や家庭構成や生活環境により、地域・社会生活を送る上での支援ニーズも多岐にわたります。それらの多様なニーズを踏まえて、第3章で取り上げたような、発症・受傷から就労などの社会参加に至るまでの支援が切れ目なく提供されるためには、医療・保健・福祉・労働・教育その他の多機関の連携による継続的な関わりと、それを可能とする支援体制の整備が必要となります。

#### 東京都における支援ネットワーク構築

東京都では、支援拠点機関である東京都心身障害者福祉センターの「高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会」において、全都での連携体制についての協議や情報交換を進めるとともに、各地域での支援体制の構築を支援してきました。

福祉サービスは、基本的には区市町村を単位に提供されることから、高次脳機能障害者が身近な地域で支援を受けられることを目指して、「区市町村高次脳機能障害者支援促進事業」を実施し、区市町村ごとの支援員の配置や関係機関のネットワーク作りを推進しています。

また、医療機関との連携については、二次保健医療圏ごとに東京都が指定する地域リハビリテーション支援センターなど、リハビリの中核医療機関を中心とした「専門的リハビリテーションの充実事業」を実施し、医療・保健・福祉などの連携体制の構築を進めています。

#### 地域で支える体制に向けて

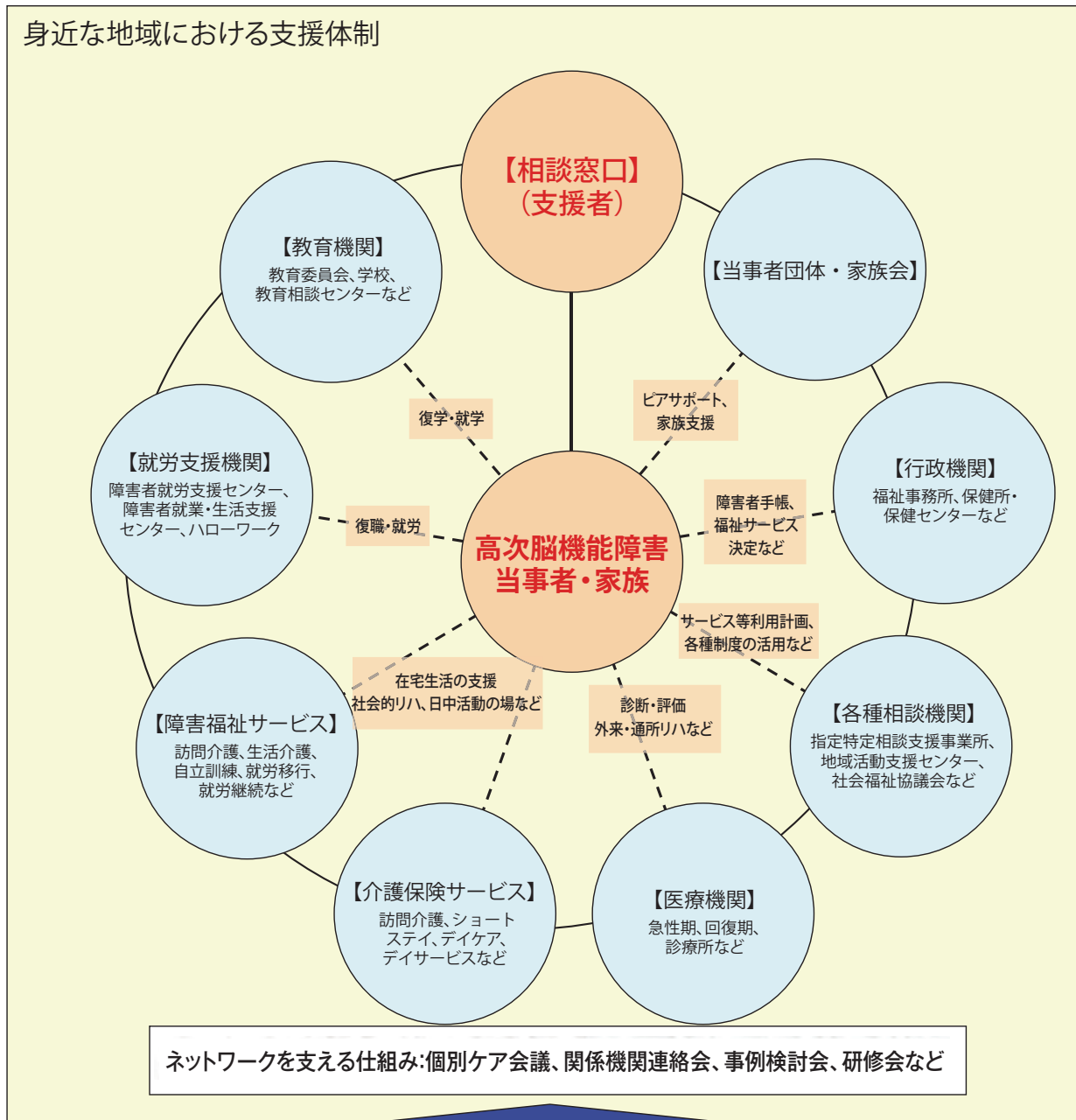
支援ネットワークは、高次脳機能障害者の多様かつ複雑なニーズに対し、関係する地域の支援機関が連携して、支援の事例を重ねていくことによって強化されていきます。（図「高次脳機能障害者の地域支援ネットワークのイメージ」参照）また、そうした支援ネットワークを維持していくために、各地域で関係機関連絡会の設置が進んでいます。

関係機関連絡会の役割や効果としては、「各機関の高次脳機能障害に対する理解が進み、支援の受け皿が広がること」、「切れ目のない支援に向けて、機関相互の機能と役割が明確になること」、「情報共有が進むことで、各機関が個々の高次脳機能障害者の将来像を見据えた支援が可能となること」などが挙げられます。

また、第3章で述べたように、単身者や、家族内に複数の課題を抱えている場合などでは、特に地域の機関や多職種がチームを組んで対応する必要があります。個別のケア会議や関係機関連絡会に加え、地域自立支援協議会の活用などの重層的なネットワークが必要となります。

高次脳機能障害者が、医療や福祉などの諸制度間の谷間に置かれないように、地域全体で支える体制が求められています。

## 高次脳機能障害者の地域支援ネットワークのイメージ



### 相談・支援

#### 広域的な支援体制

##### <東京都全域>

高次脳機能障害者支援拠点機関  
(東京都心身障害者福祉センター)

- 専用電話相談
- 支援ネットワーク構築
- 人材育成・広報普及啓発
- 社会生活評価プログラム
- 就労準備支援プログラム

(総合)精神保健福祉センター

##### <二次保健医療圏>

高次脳機能障害リハビリ中核医療機関  
(地域リハビリテーション支援センターなど)

- リハビリ技術などの助言
- 医学的診断・評価
- 圏域連絡会・症例検討会
- 支援者向け研修

##### <他の機関(就労関係)>

国の機関

- ◆ 障害者職業センター
- ◆ 国立職業リハビリテーションセンター

東京都の機関

- ◆ (総合)精神保健福祉センター
- ◆ 障害者職業能力開発校
- ◆ 東京しごと財団

## 区市町村での取組

高次脳機能障害の方やその家族が暮らしている地域で相談支援などを実施できるよう、「区市町村高次脳機能障害者支援促進事業」を実施しています。

実施区市町村では高次脳機能障害者支援員を配置して、相談支援、関係機関との連携、普及啓発などを行っています。取り組み内容は、事例検討会、研修会、パンフレット作成、当事者会・家族会への支援など様々です。

支援促進事業未実施の区市町村についても、障害福祉主管課などで相談支援などを行っています。

### 【支援員が配置されている機関】（令和4年度現在）

区	支援員配置機関
中央区	中央区福祉保健部福祉センター
港区	港区立障害保健福祉センター
新宿区	新宿区立障害者福祉センター
文京区	保健衛生部予防対策課精神保健係
台東区	台東保健所 保健予防課 精神保健担当
墨田区	すみだ福祉保健センター
江東区	江東区障害者福祉センター
品川区	品川区障害者相談支援センター
目黒区	特定非営利活動法人 いぎいき福祉ネットワークセンター
大田区	障がい者総合サポートセンター・志茂田福祉センター
世田谷区	社会福祉法人世田谷ボランティア協会ケアセンターふらっと
渋谷区	障がい者基幹相談支援センター
中野区	中野区障害者地域自立生活支援センター
杉並区	保健福祉部障害者生活支援課地域生活支援担当
豊島区	保健福祉部 障害者福祉課 心身障害者福祉センター
北区	北区 福祉部 障害者福祉センター 事業係
荒川区	荒川区立心身障害者福祉センター
板橋区	板橋区立障がい者福祉センター
練馬区	練馬区立心身障害者福祉センター
足立区	足立区障がい福祉センター
葛飾区	葛飾区地域活動支援センター
江戸川区	NPO 法人 東京ソテリア 地域活動支援センターはるえ野
市町村	支援員配置機関
八王子市	医療法人社団永生会 永生病院 連携・委託事業推進室
武蔵野市	社会福祉法人武蔵野 武蔵野市障害者福祉センター 高次脳機能障害相談室ゆいっと
三鷹市	三鷹市健康福祉部障がい者支援課基幹相談支援センター担当
青梅市	青梅市障がい者サポートセンター
府中市	社会福祉法人あけぼの福祉会 地域生活支援センターあけぼの
調布市	社会福祉法人調布市社会福祉協議会
町田市	社会福祉法人まちだ育成会 ひかり療育園
小金井市	小金井市障害者地域自立生活支援センター
小平市	小平市健康福祉部障がい者支援課
日野市	社会福祉法人 創隣会（高次脳機能障害者支援センター・つくし）
東村山市	東村山市健康福祉部障害支援課
国分寺市	社会福祉法人 万葉の里 国分寺市障害者センター 地域活動支援センターつばさ
国立市	国立市健康福祉部しょうがいしゃ支援課支援係
福生市	福祉保健部 障害福祉課 障害福祉係
狛江市	福祉保健部 福祉相談課
清瀬市	清瀬市福祉・子ども部障害福祉課
武蔵村山市	武蔵村山市健康福祉部障害福祉課
多摩市	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会
稲城市	社会福祉法人 正夢の会 稲城市障害者総合相談センター マルシェいなぎ
羽村市	羽村市障害福祉課
あきる野市	あきる野市健康福祉部障がい者支援課
西東京市	特定非営利活動法人ミモザ 西東京市保谷障害者福祉センター
奥多摩町	奥多摩町福祉保健課

3

## 二次保健医療圏での取組

高次脳機能障害は、ゆるやかな回復過程をたどるため、医療・福祉・介護などが長期間にわたり継続して連携を取りながら支援していく必要があります。そこで、区市町村単位では完結しえない医療機関との連携体制の構築などを目的として、二次保健医療圏ごとに、高次脳機能障害のリハビリテーションにおける中核医療機関を中心とした「専門的リハビリテーションの充実事業」を実施しています。

専門的リハビリテーションの充実事業実施状況



### 北多摩南部医療圏（東京慈恵会医科大学附属第三病院）の取組

北多摩南部医療圏では、東京慈恵会医科大学附属第三病院が高次脳機能障害のリハビリテーションの中核医療機関として、「専門的リハビリテーションの充実事業」を実施しています。

本圏域では、事業の一環として、圏域内6市（武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市）の協力を得て、圏域内における高次脳機能障害に対応する関係機関（相談機関、通所施設、病院、訪問看護など）の情報を、各市共通のアイコンでマップに掲載した「北多摩南部医療圏 高次脳機能障害支援マップ」を作成しています。

この支援マップは、各施設の所在地だけでなく、利用条件や送迎の有無、活動内容についてもわかりやすく掲載しています。また、市外在住の方の利用の有無についても掲載するなどの工夫がされています。

「北多摩南部医療圏 高次脳機能障害支援マップ」の作成をとおして、東京慈恵会医科大学附属第三病院を中心とした医療・福祉・介護などのネットワーク構築が進められています。



【二次保健医療圏ごとの、専門的リハビリテーションの充実事業の受託医療機関が発行している社会資源マップ】（令和5年1月現在）

※この他に、【区東北部】いずみ記念病院と【区西北部】豊島病院は Web 上でマップを公開しています。



【区南部】  
荏原病院



【区西南部】  
玉川病院



【区西部】  
慶應義塾大学病院



【西多摩】  
大久野病院



【南多摩】  
永生病院



【北多摩西部】  
村山医療センター



【北多摩北部】  
東京病院

高次脳機能障害者の  
相談支援の基本

高次脳機能障害の  
基礎知識

高次脳機能障害者の  
支援の流れ

高次脳機能障害者の  
家族支援

高次脳機能障害者を  
地域で支える仕組み

高次脳機能障害に  
関わる制度

高次脳機能障害及びその関連障害に  
対する支援普及事業について